

市議会12月定例会行政報告

ふるさと創生

湯夢湯夢の里オープン

市議会十二月定例会が招集された十二月五日、高山市長が行政報告をしました。その中から主なものの要旨をお伝えします。
なお、今定例会で審議された議案などについては、来年の一月十六日号でお知らせします。

湯夢湯夢の里事業

オープン

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業の湯夢湯夢の里(Bゾーン・駅前、旧バイパス整備計画)のうち、市が着手していた湯夢湯夢の広場、浴場、カリヨン(音の鳴る木)が完成し、一般に開放されています。



湯夢湯夢の湯に入っている子供たち

スタートを切っています。また、隣接地には温水プール新設の第一期工事を発注しました。今後この事業を通して環境を整備し、地域経済活性化のために、魅力ある温泉街づくりを進めていきたいと考えています。

誘致企業

株ティ・アイ・エスの

現況について

株式会社ティ・アイ・エスは、昨年県と市が誘致したもので、ソフトウエア開発、データ入力受託処理等を主な仕事とした情報処理関連企業です。

この会社は、昨年の十月から朝日生命労働金庫大館ビルにおいて仮操業を続けてきましたが、累積赤字の増加等によって経営困難となり、このたびの「休業」になったものです。従業員百二十六人全員が十月三十一日に解雇されましたが、このうち八十四人については、十一月一日に親会社である株式会社流通技術研究所(長野市)が大館営業所従業員として再雇用しましたので、実質離職者は四十二人となっています。

市の誘致企業が本操業を待たずに実質上の倒産となり、多くの離職者を出したことに對しては深くおわびします。

市としては、経営者から再建計画などを事情聴取するとともに、解雇された人たちの再就職や賃金未払い、解雇予告手当の支給問題などについて、関係機関の協力を得ながら対応しています。再就職については順調に進んでいますし、賃金未払いは十一月二十九日で解決。解雇予告手当についても十二月十日に支給される予定です。

今回のことを教訓として、今後の企業誘致については事前の調査に全力を注ぐとともに、誘致企業の指定方法を含めた条例の見直しなど、広く検討を加えていきます。

稲の作柄について

今年の県北地区における作況指数は、九十七の「やや不良」、十アール当たりの収量は五百五十六グラムと昨年に引き続いでの不作となり、三年連続の限度数量割れとなりました。

稲の生育は、初期の分けつ、草丈の伸長ともおおむね順調で

市長メモ



No.44

反省

今年も残すところ二週間となりましたが、皆様にとつてはどんな年だったでしょうか。

「あつという間の一年でした」と言う人は、良い年だった人でしょう。それは時間を感じないほど集中できるものがあつた証拠ともいえるのですから。

景気もこの一年伸び続け、併せて五十カ月上昇。「いざなぎ景気」に迫ろうとしています。しかし、結果良ければすべてよし」では困ります。それではご都合主義になってしまうからです。一年の中には、一日一日という部分があるのですから、だれのためでもない自分のために、この一年を謙虚に反省しましょう。

反省なくして新しい年の正しい目標は存在しません。もし目標をたてたとしても、それは初めから到達できないものでしょうし、そのために協力が必要となつたとしても、だれも手伝えないことにもなつてしまいます。良い年を迎えるために厳しく反省しましょう。

ふるさと創生